ii-nuts!!

2月9日 青少年育成町民会議

昨年はコロナ禍「まん延防止重点措置」期間が延長され、予定しておりました総会は中止となりましたが、今年は感染対策を講じながら 82 名の方にお集まりいただき開催しました。各部会の活動報告等を確認し、日頃の努力をたたえ表彰状・感謝状を授与しました。

稲津町の青少年の健全育成を図るための合言葉は

稲津町の青少年は／稲津町民の手で ― みとめて／ほめて／はげまして ― みんなの力で健やかに

令和４年度　青少年育成町民会議　受賞者　敬称略

表彰状及び感謝状		
表彰状	神田　涼（小１）	全日本卓球選手権全国大会出場
	神田　玲（小４）	全日本卓球選手権全国大会出場
	神田　岳（小６）	全日本卓球選手権全国大会出場
	藤田紘成（小６）	瑞浪市主張大会最優秀賞
	恩田民緒（中３）	少年の主張岐阜県大会優秀賞
	熊澤　凛（中３）	全国男子中学生ウエイトリフティング選手権入賞
	中村響力（麗澤瑞浪高校２）	瑞浪市主張大会最優秀賞
感謝状	安藤　崇	令和３年度稲子連会長
	工藤拓也	令和３年度稲子連総括指導者

標語入賞（いなつびより既報）	
青少年育成町民会議優秀賞	加知花菜（小２）
	武市悠愛（小６）
	渋川優月（中２）
	加藤克哉（麗澤瑞浪中２）
稲津支部長賞（社会福祉協議会）	成瀬隼磨（小２）
	勝股孝太郎（小４）
	早坂侑奈（中２）
	島袋瑶子（麗澤瑞浪中１）

2月4日

青少年育成市民会議では、稲津町からは３名の方に感謝状が手渡されました。

中山　修　　小学5年生の稲作体験において、育苗から日常の管理まで長年にわたり地域学習に大いに貢献している。

山口健治　　多くの児童生徒にギタードラムなどの楽器演奏を長年にわたり教え、居場所づくりとしても貢献している。

井筧三和子　平成17年から児童生徒のためのボランティア団体、学用品リエントリーで学用品リサイクルを長年にわたり続けている。

2月12日 第14回 いなつフォークvillage 2023

「おはようございます。お久しぶりです。皆さんにお会いできて嬉しいです。」の元気な声で始まったいなつフォークvillage。町内はもちろん市外県外から延べ100名の来場者で賑わいました。２部制で各部定員50名。感染対策を講じながら開催し、30名のメンバーが33曲を演奏し歌いました。

最年少小学４年生と最年長72才のシニアがユーミンの曲を演奏し微笑ましいコラボでした。

高校生グループは、小学生の頃からこのギター教室に参加し練習していました。一時は自然消滅したそうですが、復活し素晴らしい演奏で会場を盛り上げてくれました。

来場者の皆さんは、出演者の一生懸命な姿に感動し、演奏者は練習の成果を発表できる機会ができたこと、マスク越しですが皆さんの笑顔が見えたことに喜びを感じていました。

幼児から80代の来場者と演奏者が一体となり歌をとおして、和やかな春の１日を過ごしました。

ii-nuts!!ギャラリー

季節のロビー展示はお雛様です。

まだまだ使えるよ

これはね、もう大きくなった子が使わなくなった物だよ。要らなくなったの？そう、だからもらっていいんだよ。え！ほんとにいいの？もちろんどうぞ。平成17年から続くリエントリーがこうして受け継がれています。

自分がもらってうれしいと思える学用品を引き続き受け付けています。

3月の稲津さん

社会福祉に貢献！

社会福祉協議会　稲津支部支部長

小栗　正敏さん　72歳　（中洞）

多年にわたり、社会福祉協議会稲津支部役員として社会福祉に寄与された功績が認められ表彰されました。

「故　市川支部長さんから稲津支部の手伝いをして欲しいと頼まれ、社会福祉の事など全く分からないまま関わり通算16年目となりました。ここまでこられたのも皆さま方のご指導、ご支援のおかげだと感謝しております。」

「当時は、今ほど社会福祉が注目されておりませんでした。世の中が大きく変化し、少子高齢化が進む中、社会福祉が担う役割はより大きなものになってきています。支部としては、地域で共に助け合って生きていくための一助になるよう今後も活動していきます。皆さまのご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。」

中学生の柔軟な発想は面白い！

瑞浪市まちづくりプロジェクト発表会

麗澤瑞浪中学1年生50人が、「瑞浪市のまちづくりについて」をテーマに10月から探求学習に取り組んできました。稲津町の公民館を訪れるなど事前学習をし、16グループの中から学内選考会で選ばれた4グループが２月15日のプロジェクト発表会で発表をしました。

市長賞に「瑞浪市の観光」をテーマに発表した【STN】。

明日の稲津を築くまちづくり推進協議会理事長賞に「空き地の有効活用と瑞浪市の宣伝」をテーマに発表した【なつえな】。

奨励賞に「瑞浪市が栄えるように」を発表した【Beyondo】と「瑞浪市の隠れた魅力」を発表した【3H】がそれぞれ受賞されました。おめでとうございます。

瑞浪の良い所や改善すべきところをよく見ていて「二次交通の活用方法」「瑞浪の魅力を、SNSを活用して発信する」など多くの提案をしていて、どのグループもすばらしい発表でしました。

※【　】はグループ名

		1月1日現在	2月1日現在	増減
人口	男	2,064　人	2,062　人	−2
	女	2,125　人	2,120　人	−5
	計	4,189　人	4,182　人	−7
世帯数		1,722　世帯	1,720　世帯	−2

	不燃ごみ	ビン・缶・ペットボトル・紙類・古着
小　里	3月15日	3月28日
	4月14日	4月25日
萩　原	3月14日	3月27日
	4月13日	4月24日

館長コラム

故郷探訪　止静庵（しじゅあん）

土岐町大草の小川を渡ったその先に木漏れ日の光を映す、屏風山を水源とする小さな「心字池」がひっそりと佇んでいる。そこが稲津町萩原大牧に位置する「止静庵」跡である。現在は、「卯月会」の皆さんを中心にボランティアで管理し瑞浪市の宝を保存してみえます。

南北朝時代の「夢想国師禅師」が全国各地にお寺を開き臨済宗を盛んにした高僧といわれ、正和３年土岐氏を頼り美濃の国に入り、屏風山の麓に鶏足山心宗陀頭禅寺（心宗寺）、後の止静庵を開山したと言われていますが残念ながら止静庵は焼失してしまいました。

止静庵のほとりにある心字池は毎年杜若や菖蒲の花が咲き誇ります。心字池の奥に二つ重なった大きな岩があり、夢想国師が座禅を組んだと言われる「座禅岩」は中ほどがくぼんでいます。南北朝時代に思いを馳せ、座禅岩に座って心字池を眺め、小鳥のさえずりを聞きながら瞑想にふけってみてはいかがでしょうか。

今年度は稲津町の旧所・名跡をほんの少しですが紹介させていただきました。

下小里毘沙門堂、釜縑地蔵堂、羽広観音堂などまだまだ紹介できなかった歴史的建造物が多く存在します。また道端にひっそり佇む石仏・石塔なども古いにしえの稲津の歴史を物語っているのではないでしょうか。稲津の歴史を再発見されてはいかがでしょうか。

（M）